

# 第3回日本放射線事故・災害医学会 報告

2015年9月4日

日本放射線事故・災害医学会

広報委員会

I. 大会テーマ：多機関連携のあり方を模索する

II. 大会長：田勢長一郎（福島県立医科大学）

III. 大会事務局長：長谷川有史（福島県立医科大学）

IV. 開催日時

(1) 大会： 2015年8月29日（金）9:50 - 16:45

(2) 理事会： 第1回 2015年8月28日（木）15:00 - 15:30

第2回 2015年8月29日（金）16:50 - 17:15

(3) 総会： 2015年8月29日（金）13:10 - 14:30

(4) 懇親会： 2015年8月28日（木）17:30 - 19:30

V. 開催場所：

(1) 大会、総会： 福島県立医科大学講堂

福島市光が丘1番地 TEL 024-547-1581

(2) 理事会： 第1回：ホテル辰巳屋 真珠の間

福島市栄町5-1 TEL 024-522-5111

第2回：福島県立医科大学講堂

(3) 懇親会： ホテル辰巳屋 瑞雲の間

VI. 学会参加者数

会員：34名

一般：117名

招待：13名

合計164名

## VII. 総会

学会会員 97 名中、学会参加 34 名、委任状提出 28 名にて総会は成立しました。

2014 年度会計報告がなされ、承認されました。また、2015 年役員選挙について立候補者数が理事 10 名、監事 2 名であり、定数と同数あるいは未満だったため無投票で立候補者全員が当選したことが報告され、役員が決議されました。代表理事は学会後の理事会にて選出されました。

2015 年の大会長は明石真言（放医研）、2016 年の大会長は山口芳裕（杏林大学）であることの紹介がありました。

最後に、編集委員長により学会誌発刊、論文等の投稿について紹介がありました。

## VIII. 大会概要

今年には 2011 年に発生した東日本大震災および東京電力株式会社福島第一原子力発電所事故の被災地となった福島県で開催されました。また、会場の福島県立医科大学はまさに事故発生後の超急性期で福島県における緊急被ばく医療の舞台となった場所です。原発事故以降、様々な原子力防災が見直されてきましたが、緊急被ばく医療体制でも原子力災害医療として新たに高度被ばく医療支援センター、原子力災害医療・総合支援センター、原子力災害拠点病院、原子力災害医療協力機関からなる体制が構築されつつあります。そこで、「多機関連携のあり方を模索する」というテーマを掲げ、第 3 回日本放射線事故・災害医学会が開催されました。

午前中にこの新たな体制の概要、福島第一原発事故の健康影響と線量評価について福島県の取り組みと、原子放射線の影響に関する国連科学委員会(UNSCEAR)の東電福島第一原発事故に関する報告書についての講演がありました。特に UNSCEAR 報告書に関しては福島原発事故の影響のリスクについて分かり易く解説されました。

午後はシンポジウムとして緊急被ばく医療、原子力災害時の医療における時間、医療体制、関連機関の 3 つの軸からの多機関連携について討論されました。多機関連携に関して、国、県の枠組みでの防災計画の他、個別の医療機関での体制整備、避難計画、研修、訓練も必要であることが報告されました。自衛隊の災害派遣、国民保護訓練では多機関連携がなされており、これらも原子力災害、放射線事故時にも参考となることが提案されました。また、多機関連携においては、医療、患者搬送、初動対応に関して危険性、対処、処置等の共通理解、標準化が必要であり、その教育が必要であることが指摘されました。さらに、これらの継続した実施が必要であるとの意見が出されましたが、新たな体制の中で、早急に継続性のある体制整備、研修について国、地域での方針を決定、実行できるようになる必要があると思われま

す。多機関連携では、災害時のそれぞれの機関の活動方針、計画があることを理解し、平時からの関係構築が重要であり、さらに放射線事故・災害時に専門的支援ができる体制をつくること

が必要です。そして、連携した上で、全体の活動における指揮命令系統、統括者、責任の所在をどのように明確にし、専門家を育成していくかが今後の課題です。

このシンポジウムでの発表、討議の内容は、当学会誌にて報告予定です。

教育セミナーは福島県の偉人である志賀潔、野口英夫、大原八郎についての講演がありました。

さらに、ポスター展示では、地域の被ばく医療機関の放射線事故・災害への取り組みが紹介されました。それぞれの医療機関を取り巻く環境は異なります。その地域の特性に合わせた組織体制、研修、訓練などの取り組みが紹介されました。

以上、大変有意義で、活発な意見交換がなされた学会となりました。



開会の辞



教育講演 I

神谷研二先生



特別講演

鈴木元先生



教育セミナー

武田美文先生



総会



シンポジウム